

気仙地方「意欲と能力のある林業経営体」勉強会を開催

気仙地方の林業経営体の資質向上や相互の関係の強化を図るとともに、情報共有や意見交換等を通じて地域林業の課題解決に向けたステップに繋げるため、令和2年1月23日に意欲と能力のある林業経営体7社を集めた勉強会(縮めて「^{いのべんかい}意能勉会」)を開催したのでお知らせします。

1 はじめに

当管内では意欲と能力のある林業経営体7社が認定を受けていますが、これまで行政との関りが少ない経営体もありました。しかし、今後、地域の林業を考える上で経営体との連携は不可欠であり、何より、最も現地に精通する彼らとの情報共有は、林業が抱える課題の解決へのヒントに繋がるのではないかと考えました。

そこで、まずはコミュニケーションを深めるきっかけにするため、勉強会を開催しました。

2 開催方法

勉強会是一方通行の会議形式とはせず、双方向で自由に意見交換ができるよう、レイアウトを車座にし、雰囲気づくりを工夫しました。

第1回目となる今回は、7社から11名、他に大船渡市1名、振興局7名の計19名が参加



し、①オリエンテーション(自己紹介)、②振興局からの情報提供、③意見交換:テーマ「再造林」の流れで行いました。

3 概要

意見交換では再造林の課題を掘り下げました。「所有者の経営意欲の減退が深刻だ」「低密度にしても経費的なメリットが感じにくい」「儲からないから魅力を出せない」など難しい課題も多く出ましたが、解決の第一歩として、皆で考え、共通認識を持つことができたのではないかと感じました。

恐らく皆が初めてとなるこの車座スタイルは新鮮で、和やかなムードのまま話題が途切れることなく、熱い意見交換ができました。



4 今後に向けて

勉強会の開催前は、参加者から意見が出るのが不安でしたが、最後は時間が足りなくなるほど発言が続き、参加者からは「面白かった、もっと話したかった」「時間足りないねえ」という声も聞かれ、次回以降の手応えを感じました。

今後は年2回程度、17時以降の開催も視野に入れるなど、形に捕らわれない自由な発言の場とすることで、地域林業のイノベーションに繋がっていきたいと思います。